

マニアがうなるボカシが誕生！

ご説明

『うちのボカシは最高だ！』『俺のボカシが1番だ！』
ボカシにこだわりを持っている生産者(マニア)は大勢います。
農業に携わる方にとって作物の大きさ、色艶、収量、食味、
連作障害、生理障害・・・等の悩みは共通です。
生産の基本は土作りである事は基本中の基本。
マニア達の経験・意見を参考に
ボカシ初心者にも使い易いように
研究・実験を重ね、いよいよ登場です。
マニアがうなるボカシ肥料それがボカシマニアです。

土壌菌

糸状菌 (カビ)
放線菌
酵母菌
細菌 (バクテリア)
その他

+ 内城菌

内城菌と土壌菌が協力し
有用微生物を活性化させます。

有用微生物により 土壌の健康増進

植物は有機物を直接吸収することはできません。
土壌微生物が有機物を分解して、
植物が必要な栄養分や腐蝕をつくり出しています。
また根酸を微生物が食べることで
植物の腐敗、老化を防ぎます。

内城菌とは

昭和30年代に農法研究家の
内城本美氏が発見した複合土壌菌
(微生物の集合体)です。
自然の中で生まれ、数十年にわたって
大切に培養されてきました。
土壌活性に優れた、
発酵菌肥料です。

根張りが良くなり 養分を吸収

微生物により土の団粒化が進み、
保肥力、保水性、透水性、通気性が促進され、
根に酸素、葉に炭酸ガスを送りやすくし、
土壌と大気とのガス交換を良好にします。

連作障害に強くなる 生理障害に強くなる

長野の山地で生まれた菌なので寒さに強く、
また高温で発酵増殖するため、
病原菌が寄り付きにくくなります。

蛎との相性抜群!!

海のミネラル肥料『蛎太郎』(別売り)と
ご一緒にお使い頂くと
より一層効果が期待出来ます。

微生物肥料と蛎殻の相性は抜群です!
蛎殻の特性である多孔質構造は
微生物の住み家となり、
増殖した微生物が土壌を
より活性化させます。
Collaboration!!



食味UP
収量UP

この肥料生きてます!!

使用法

● 元肥・土壌改良剤としての使用法

土とボカシマニアをよく混ぜ、たっぷりと水を与えて2~3週間ねかせてからご使用下さい。
初年度は10a(アール)当り15袋、2年目からは10袋を目安として下さい。



● 追肥・側条肥としての使用法

下図のように、根本から離れた所に施肥して下さい。
追肥の場合 様子を見て少しずつ与えます。
側条肥の場合 下記の使用量を参考にして下さい。



施肥から2~3日後
菌糸が発生
熟成スタート!!

使用量の目安

畑・稲作	初年度15袋(300kg)、2年目~10袋(200kg) [10a当り]	
プランター	5~10g (1リットル当り)	
果 樹	成 木	約15kg (1本当り)
	若 木	約10kg (1本当り)
	細 木	約10kg (1本当り)

肥料取締法に基づく表示

● 肥料の名称	ボカシマニア
● 特殊有機肥料	
● 肥料の種類	たい肥
● 届出を受理した都道府県	神奈川県
	第19-3号
● 表示者の氏名又は名称及び住所	株式会社 二見 神奈川県小田原市中町3丁目13番22号
● 正味重量	20kg
● 生産した年月日	欄外表示
● 原料	食品残渣 米ぬか、穀物粉 微生物資材
<small>備考: 生産に当たって使用された重量の大きな順である。</small>	
● 主な成分の含有量 (現物あたり)	
窒素全量 (%)	3.0%
りん酸全量 (%)	2.0%
加里全量 (%)	1.0%
炭素窒素比 (C/N比)	19